

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
人間の健康と社会・心理的適応	NSF22_001	必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
今村 亨	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	健康やストレスには心理的・社会的側面が不可分に関わっていることを理解し、自分自身、また将来的に患者・利用者の健康増進に寄与できるようになることが本授業の目的である。人間の健康と社会・心理的適応について配布資料と動画を通して理解し、その後、フィードバックとメディアを利用したグループワーク等の意見交換を行い、理解を深める。				
学習上の助言	配布資料等での学習では自律的な学習が必須であり、意欲の維持に努めていただきたい。同時双方向型授業開始時には学習環境が変化するが、心構えの切り替えの準備をしておいていただきたい。				
教科書	健康・医療心理学入門 著:島井哲志 他/編:島井哲志、長田久雄、小玉正博/有斐閣アルマ				
参考書	ストレス・マネジメント入門[第2版] 著:中野敏子 金剛出版 人を伸ばす力 著:エドワード・L・デシ リチャード・フラスト/監訳:桜井茂男 新曜社 ポジティブ心理学の挑戦 著:マーティン・セリグマン/監訳:宇野カオリ ディスカヴァー・トゥエンティワン				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	ストレスが発生する機序とその意味について説明することができる		NS(1)		
②	自他共に尊重したコミュニケーションの形式を理解し、日常で実践できる		NS(2)		
③	他者のストレスを適切に把握することができる		NS(3)		
④	他者のストレスや心理的不健康に対し、対処法を提示することができる		NS(4)		
⑤	多職種連携の意義と方法を説明できる		NS(5)		
⑥	健康と社会・心理的適応についての学習・研究を自分なりに進めることができる		NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「オリエンテーション」を実施する	4	
2	心理学的な見方とは フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「心理学的な見方とは」を実施する	4	
3	様々な動機づけ理論 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「様々な動機づけ理論」を実施する	4	
4	社会・環境が個人の心に及ぼす影響 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「社会・環境が個人の心に及ぼす影響」を実施する	4	
5	健康とウェルビーイング、健康リスクへのアプローチ フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「健康とウェルビーイング、健康リスクへのアプローチ」を実施する	4	
6	健康心理学と臨床心理学、ストレスとウェルビーイング フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「健康心理学と臨床心理学、ストレスとウェルビーイング」を実施する	4	
7	食生活とウェルビーイング フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「食生活とウェルビーイング」を実施する	4	
8	身体活動・睡眠とウェルビーイング フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「身体活動・睡眠とウェルビーイング」を実施する	4	
9	感情と健康リスク フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「感情と健康リスク」を実施する	4	
10	行動と健康リスク、発達・加齢に伴う健康リスクと支援 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「行動と健康リスク、発達・加齢に伴う健康リスクと支援」を実施する	4	
11	働く人の健康リスクと支援 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「働く人の健康リスクと支援」を実施する	4	
12	医療における行動と心理、健康・医療心理学の臨床的展開 フィードバック:課題返却で実施 意見交換の機会:授業時間内に実施	印刷教材等での授業	課題「医療における行動と心理、健康・医療心理学の臨床的展開」を実施する	4	
13	医療におけるコミュニケーションと課題	同時双方向型授業	事前課題:教科書第13章を通読しておくこと。	4	
14	災害による健康リスクと支援	同時双方向型授業	事前課題:教科書第14章を通読しておくこと。	4	

[専門教育関連科目/健康と健康障害の理解]

15	医療制度と心理職の社会的役割、全15回の振り返り	同時双方向型授業	事前課題:教科書第15章を通読しておくこと。	4			
試	試験はレポートによって充当することとする 達成度評価・評価のポイントを参照						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		40	60	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	25	0	0	0	0	25
	思考・推論・創造する力	10	15	0	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	5	0	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	5	0	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	15	0	0	0	15
	問題を発見・解決する力	5	10	0	0	0	15
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	社会状況を考慮し、定期試験の代わりにレポート提出により充当することとする。 レポート記述に際しての留意点は、別途詳細を伝えることとする。				Teams等を用い、行動目標に即したフィードバックを行なう
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥	✓					
レポート	①	✓	印刷教材で提示された課題に対して、以下の3点で評価する。 ①建設的な考えに到達することができたか ②各人なりに努力することができた ③合理的な記述がなされているか ④設問に対して協動的に対応できているか				希望者に添削・返却
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>新型コロナウイルスによる緊急事態宣言に伴い印刷教材等での授業を実施してきましたが、その解除に伴いTeamsを使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限のWiFi環境を推奨します。課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信量に十分に注意してください。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。ご注意ください。</p>							